

令和6年度思川流域農村地域雨水流出抑制対策協議会第1回会議開催要領

1 趣旨

県ではこれまで、農地や農業水利施設が有する雨水貯留機能を活かして、水災害リスクを低減する対策の方向性を示した「思川流域農村地域雨水流出抑制対策基本指針」を制定するとともに、流域の関係者が一体となり、対策を推進するための協議会を設置などにより、「田んぼダム」の有効性について周知してきた結果、現在、県内9市町で約4,800ha、当管内では3,253haで取組が進んでいる。

一方、田んぼダムは、市町によって取組状況に温度差があることから、令和6年度第1回会議では、対策の着実な実行に向け、新潟大学農学部 宮津先生から田んぼダムの取組について御講演いただくとともに、直営での落水口設置に向けた現地実演を行い、関係者の機運醸成を図っていく。

2 日時

令和6（2024）年11月14日（木）13:15～16:15

（講演 13:15～14:15、移動 14:15～14:45、現地実演 14:45～16:15）

3 場所

(1) 講演

道の駅 思川 小山評定館（小山市大字下国府塚 25-1）

(2) 現地実演

栃木市大平町西水代地内

4 内容

(1) 講演：田んぼダムの持続的取組みの実施を目指して

◇新潟大学農学部 宮津 進 准教授

(2) 現地実演：落水口の設置等について

落水口の概要と効果の説明、設置作業の実演

◇下都賀農業振興事務所農村整備部

令和6年度思川流域思川流域農村地域雨水流出抑制対策協議会第1回会議 案内図



誘導員 ▲

出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp>)